

(参考別冊1)

令和7年度 大糸線活性化協議会

令和6年度 大糸線およびJR大糸線増便バス 振返り

2025年5月13日
大糸線活性化協議会

アンケート概要

1. 調査概要

利用者動向や大糸線及び増便バスの感想等、意見を集約することを目的に、乗込みでアンケート調査を実施

2. 実施内容

①調査日程

2024年 6月20日（木）～6月23日（日）

7月18日（木）～7月21日（日）

8月22日（木）～8月25日（日）

9月26日（木）～9月29日（日）

10月17日（木）～10月20日（日）

11月21日（木）～11月24日（日）

12月26日（木）～12月29日（日）

1月23日（木）～1月26日（日）

2月20日（木）～2月23日（日）

3月 6日（木）～3月 9日（日）

②対象列車

調査日の全ての鉄道および増便バス

※人数カウントについては、鉄道は調査日のみ・増便バスは全てで実施

③対象者

対象の列車および増便バスに乗車されている全てのお客様

④実施方法

アンケートによる記入方式

■月別 J R 大糸線増便バスご利用実績 2024年6月 - 2025年3月 (人)

利用実績	利用者数	日数	一日平均	一便あたり平均	(参考) 一列車あたり平均
2024年6月	99	4	24.8	3.1	6
2024年7月	192	4	48.0	6.0	9
2024年8月	447	4	111.8	14.0	17
2024年9月	226	4	56.5	7.1	11
2024年10月	265	4	66.3	8.3	12
2024年11月	148	4	37.0	4.6	8
2024年12月	469	4	117.3	14.7	6
2025年1月	352	4	88.0	11.0	11
2025年2月	480	4	120.0	15.0	1
2025年3月	387	4	96.8	12.1	16

※ 2月の大糸線(鉄道)は大雪により多くの列車が運休した影響あり

■累計 (推計値) 2024年6月 - 2025年3月 (人)

利用者数	一日平均	一便あたり平均
23,317	76.7	9.6

前回まで推計値の算出方法→

グリーンシーズン (8月)、スノーシーズンの利用が多い (12~2月)
一方で、前述の最盛期でも 1 便平均は15名程度であり、年間を通じ輸送力としてはバスで対応可能

	1便	3便	5便	7便	2便	4便	6便	8便(人)
	白8:30発 (白8:15発)	白13:40発 (白13:40発)	白17:10発 (白17:40発)	白19:30発 (白19:10発)	糸11:55発 (糸11:55発)	糸15:45発 (糸15:45発)	糸17:55発 (糸17:20発)	糸21:30発 (糸21:35発)
2024年6月	13	23	12	4	19	20	6	2
2024年7月	43	49	14	3	36	23	24	0
2024年8月	54	183	24	13	81	28	59	5
2024年9月	50	54	24	3	55	18	19	3
2024年10月	66	82	18	2	47	30	14	6
2024年11月	31	36	11	0	35	24	7	4
2024年12月	115	103	38	3	103	66	25	16
2025年1月	87	67	26	1	87	53	18	13
2025年2月	84	112	50	16	96	94	17	11
2025年3月	103	88	39	5	94	27	16	15
1日平均	16.2	15.8	6.4	1.3	16.3	9.6	5.1	1.9

※白 = 白馬 糸 = 糸魚川、なお () は冬季ダイヤ

(参考) ご利用最大: 79名/便 < 8月18日(日) 第3便 >

1便~4便といった北陸新幹線や大糸線と接続する日中時間帯のご利用が多く、
5便~8便といった夜に運行する便のご利用は極めて少ない

■月別 J R 大糸線ご利用実績 2024年6月 - 2025年3月 (人)

	利用者数	調査日数 (木～日)	一日平均	一列車平均	(参考)バス一便あたり平均
2024年6月	515	4	129	6	3.1
2024年7月	741	4	185	9	6.0
2024年8月	1,354	4	339	17	14.0
2024年9月	902	4	226	11	7.1
2024年10月	978	4	245	12	8.3
2024年11月	666	4	167	8	4.6
2024年12月	458	4	115	6	14.7
2025年1月	913	4	228	11	11.0
2025年2月	50	4	13	1	15.0
2025年3月	1,285	4	321	16	12.1

■累計 2024年6月 - 2025年3月 (人)

利用者数	一日平均	一列車平均
7,862	196.6	9.8

※ 2月の大糸線(鉄道)は大雪により多くの列車が運休した影響あり

バスと同様にグリーンシーズン、スノーシーズンといった季節による波動が顕著
最盛期の8月でも1便平均は17名程度

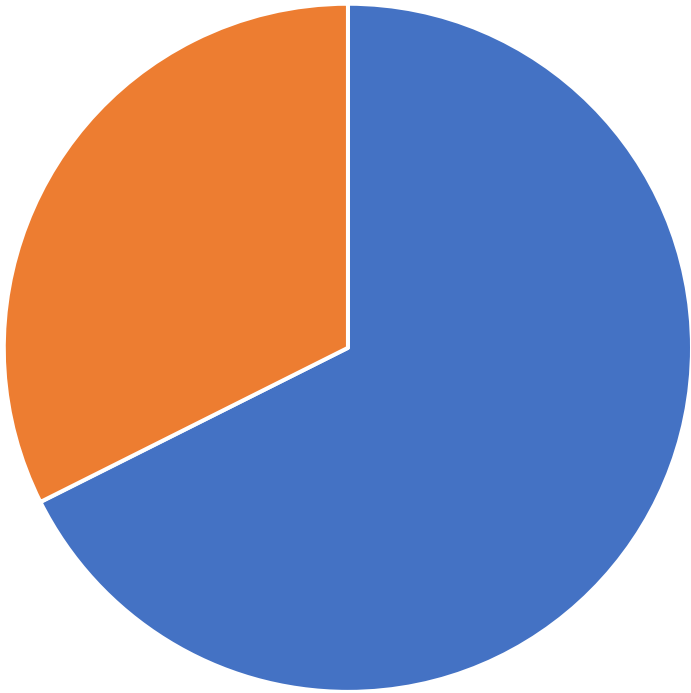
■運休日数および運休本数 2024年6月-2025年3月

	運休日数	運休本数
JR大系線（鉄道）	40	405
JR大系線増便バス	2	4

大系線は気象災害による運転取り止め等が多く、特に大雪の影響による運休が全体の約8割
一方で、バスは国道の通行止めによる運休のみ

性別、年齢を教えてください

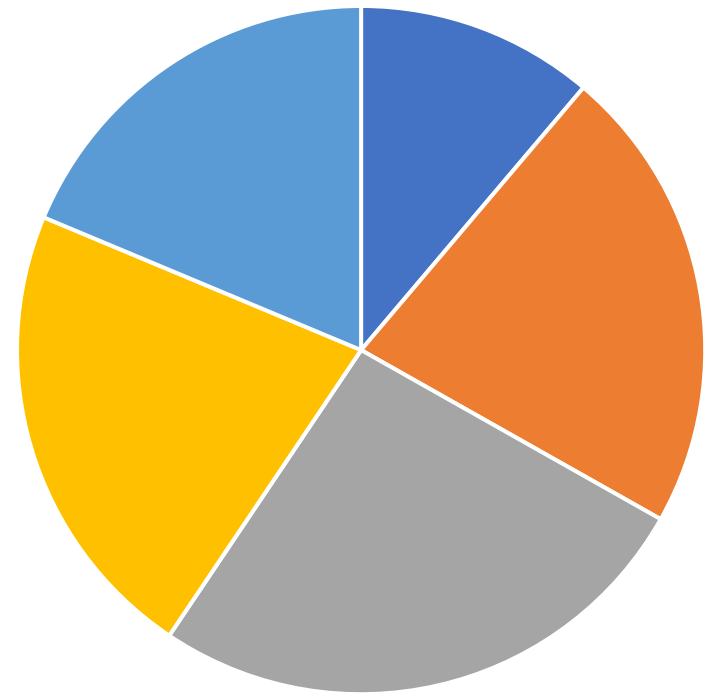
性別



■ 男性 ■ 女性

n=7,402

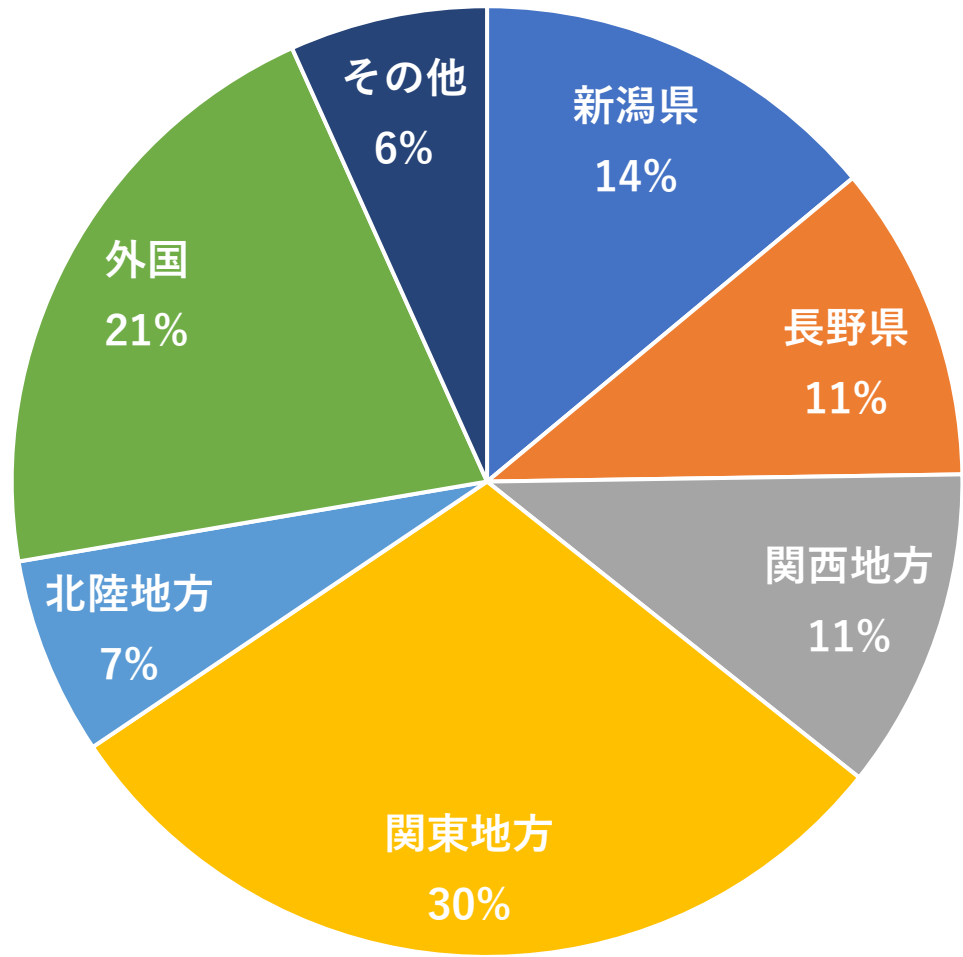
年齢



■ ~19歳 ■ 20~34歳 ■ 35~49歳 ■ 50~64歳 ■ 65歳以上

n=7,402

どちらからお越しになりましたか？

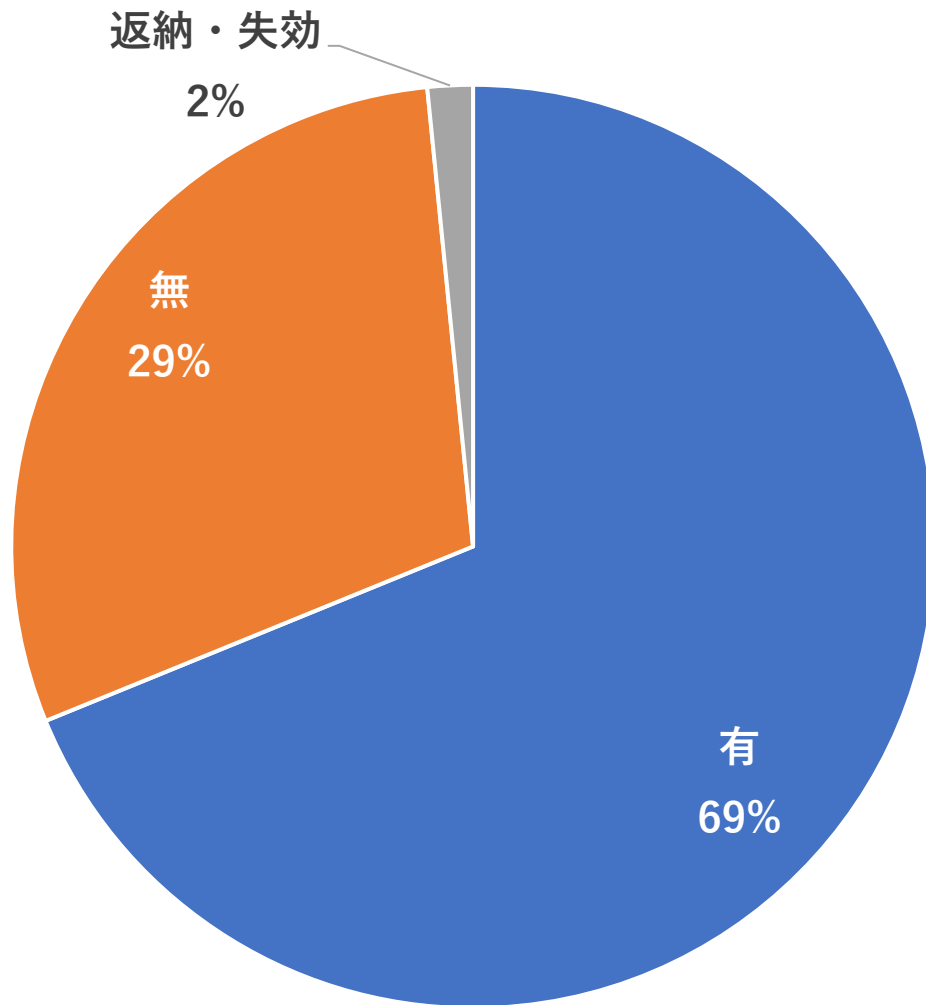


■ 新潟県 ■ 長野県 ■ 関西地方 ■ 関東地方 ■ 北陸地方 ■ 外国 ■ その他 n=7,371

地元（新潟県・長野県）以上に関西や関東および海外からのご利用者が多い

自動車運転免許はお持ちですか？

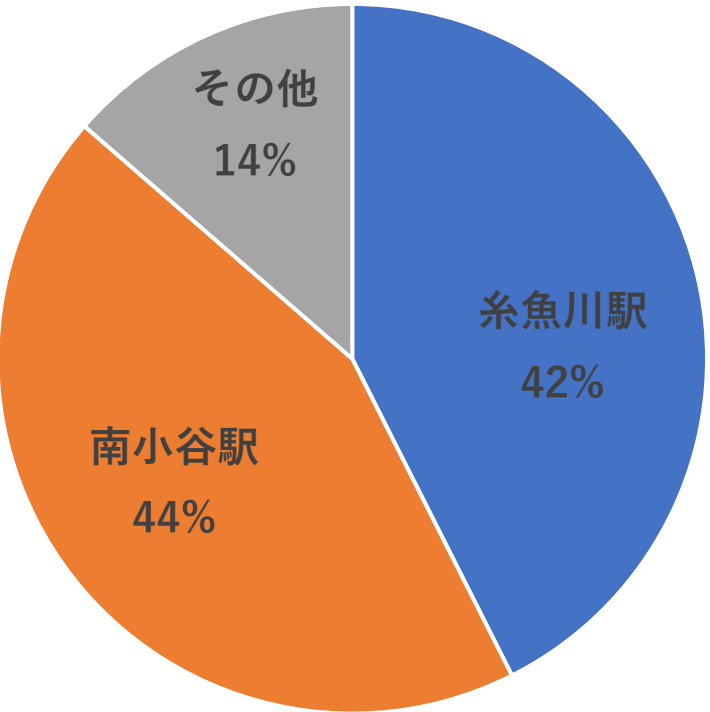
n=5,676（海外からの利用者を除く）



■ 有 ■ 無 ■ 返納・失効

乗車された駅はどこですか？

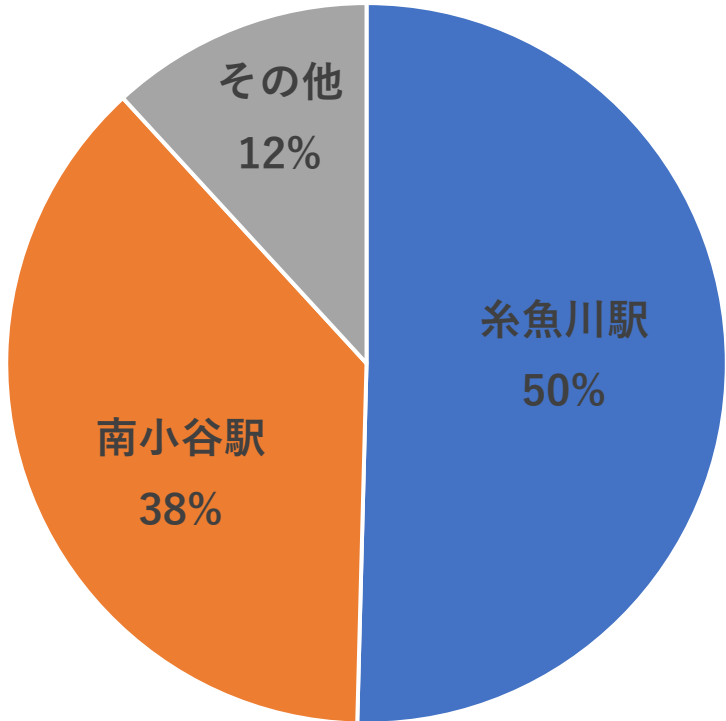
n=4,905



■ 糸魚川駅 ■ 南小谷駅 ■ その他
※「その他」は糸魚川駅～南小谷駅間の各駅

降車される駅はどこですか？

n=4,864

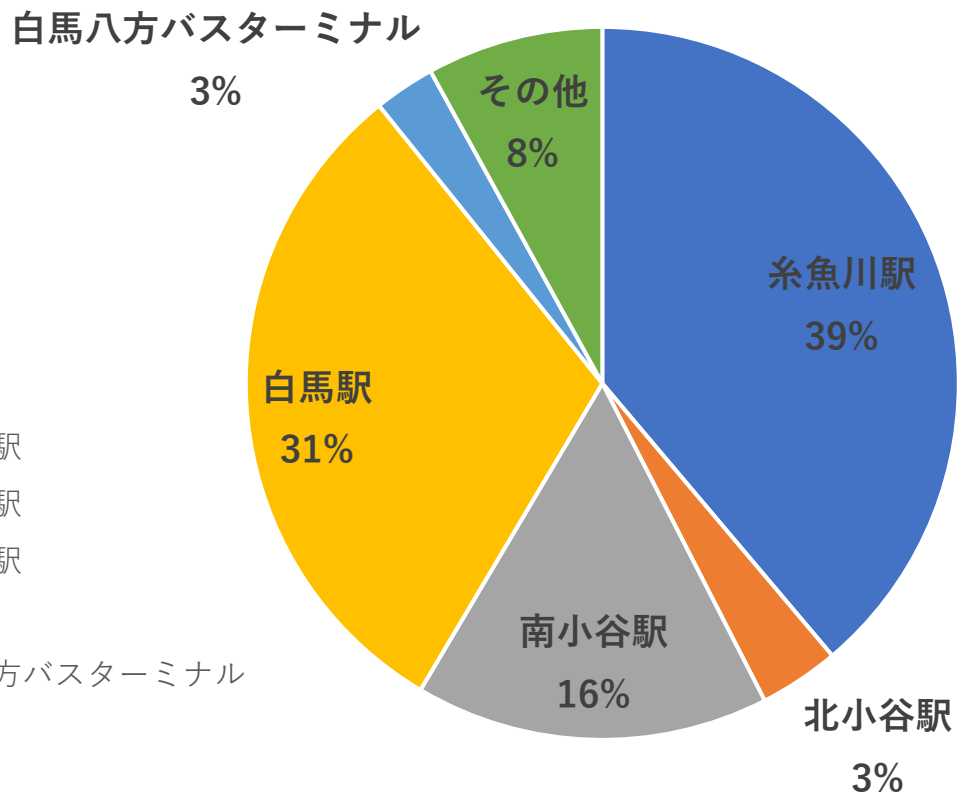


■ 糸魚川駅 ■ 南小谷駅 ■ その他
※「その他」は糸魚川駅～南小谷駅間の各駅

糸魚川、南小谷といった拠点の利用が8割以上を占める
発着ともに糸魚川駅および南小谷駅を利用しない域内のみ移動は少数

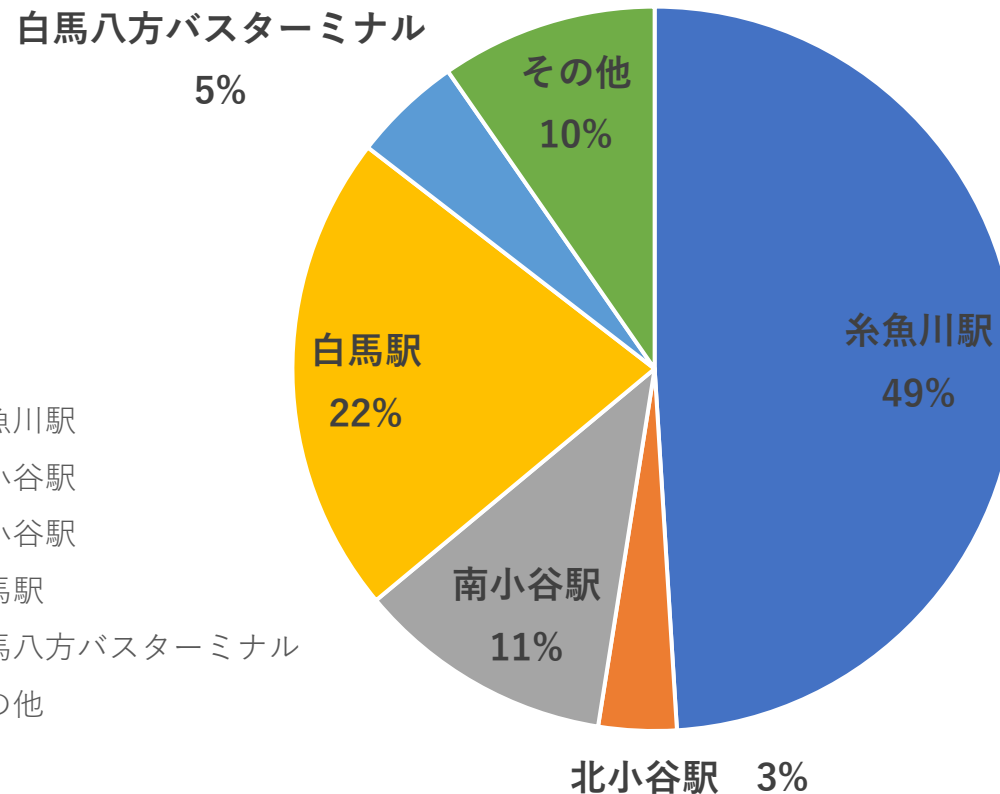
乗車された駅はどこですか？

n=2,423



降車される駅はどこですか？

n=2,442



※「其他」は糸魚川駅～白馬駅間（北小谷・南小谷・白馬八方を除く）の各駅

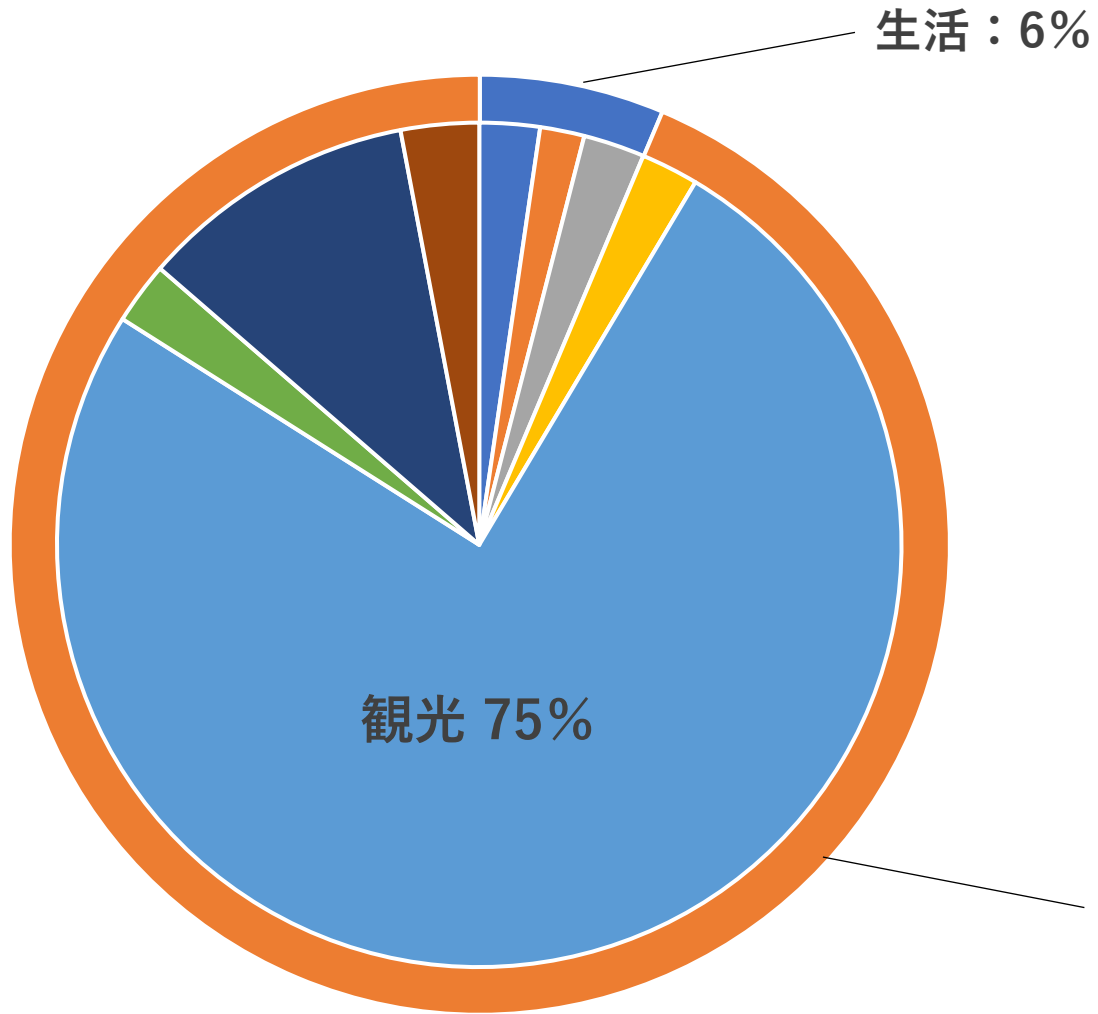
※「其他」は糸魚川駅～白馬駅間（北小谷・南小谷・白馬八方を除く）の各駅

糸魚川、白馬、南小谷、白馬八方バスターミナルといった拠点の利用が9割以上を占める
発着ともに糸魚川駅、南小谷駅や白馬駅を利用しない域内の移動は少数

利用目的は何ですか？ <複数回答>

n=7,491

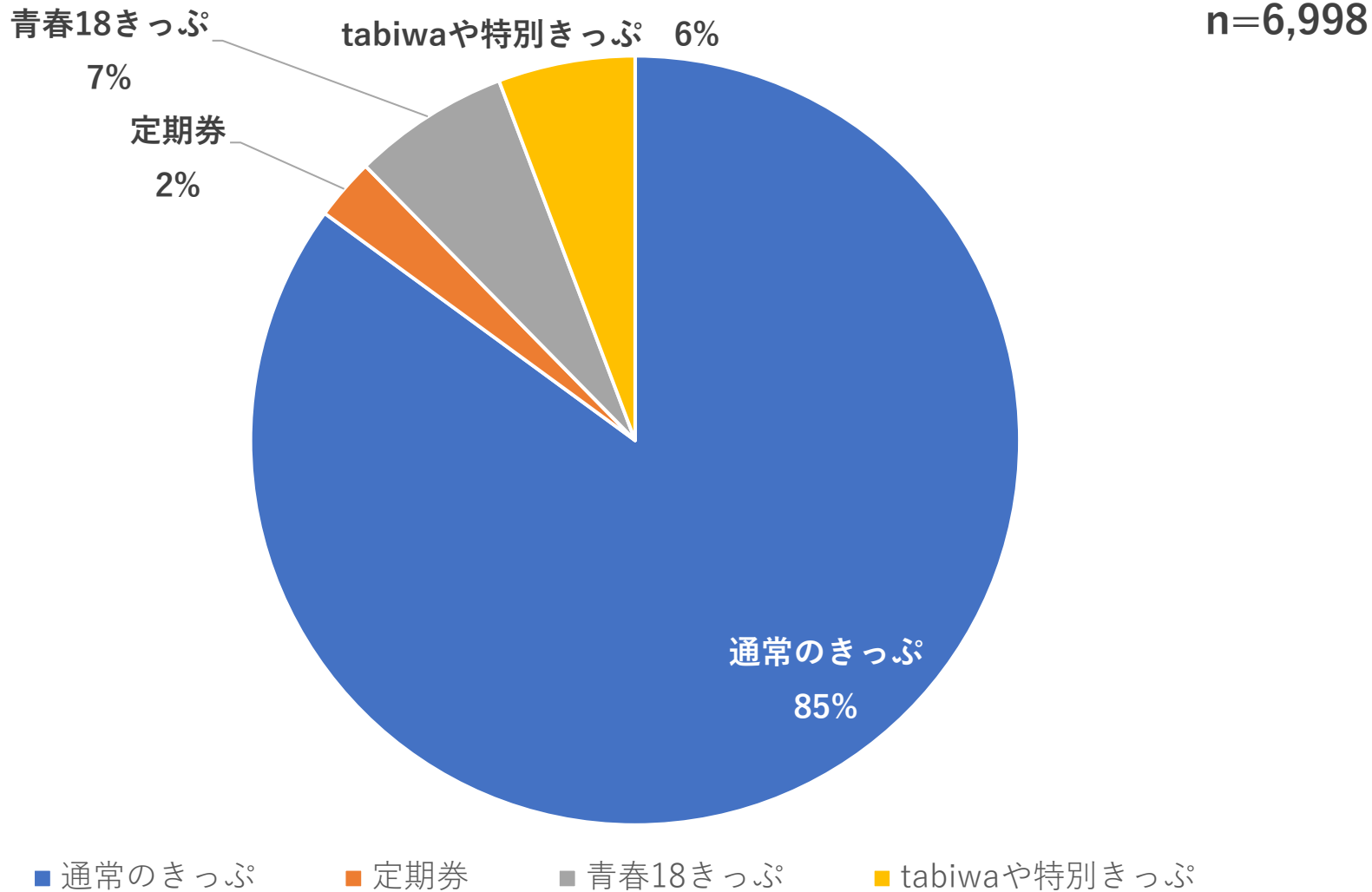
- 通勤
- 通学
- 買い物や通院等
- 外食・娯楽
- 観光
- ビジネス
- 増便バスに乗ること
- イベント



観光等：94%

観光やイベント参加等を目的としたご利用が大宗を占める

お持ちのきっぷの種類は？

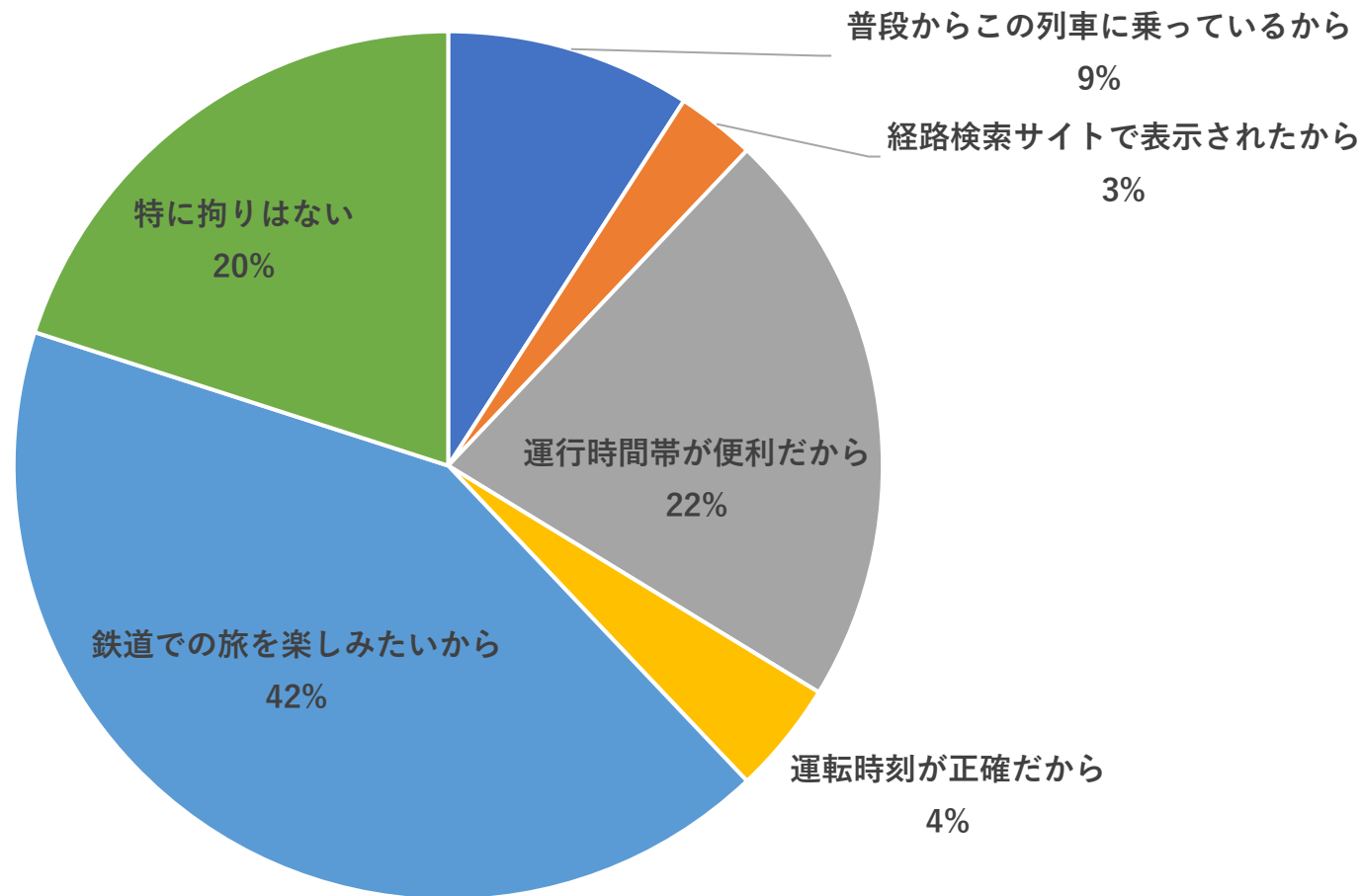


通常のきっぷによる利用者が大宗を占める

鉄道を選択した理由を教えてください（2つまで選択）

n=2,312

- 普段からこの列車に乗っているから
- 経路検索サイトで表示されたから
- 運行時間帯が便利だから
- 運転時刻が正確だから
- 鉄道での旅を楽しみたいから
- 特に拘りはない

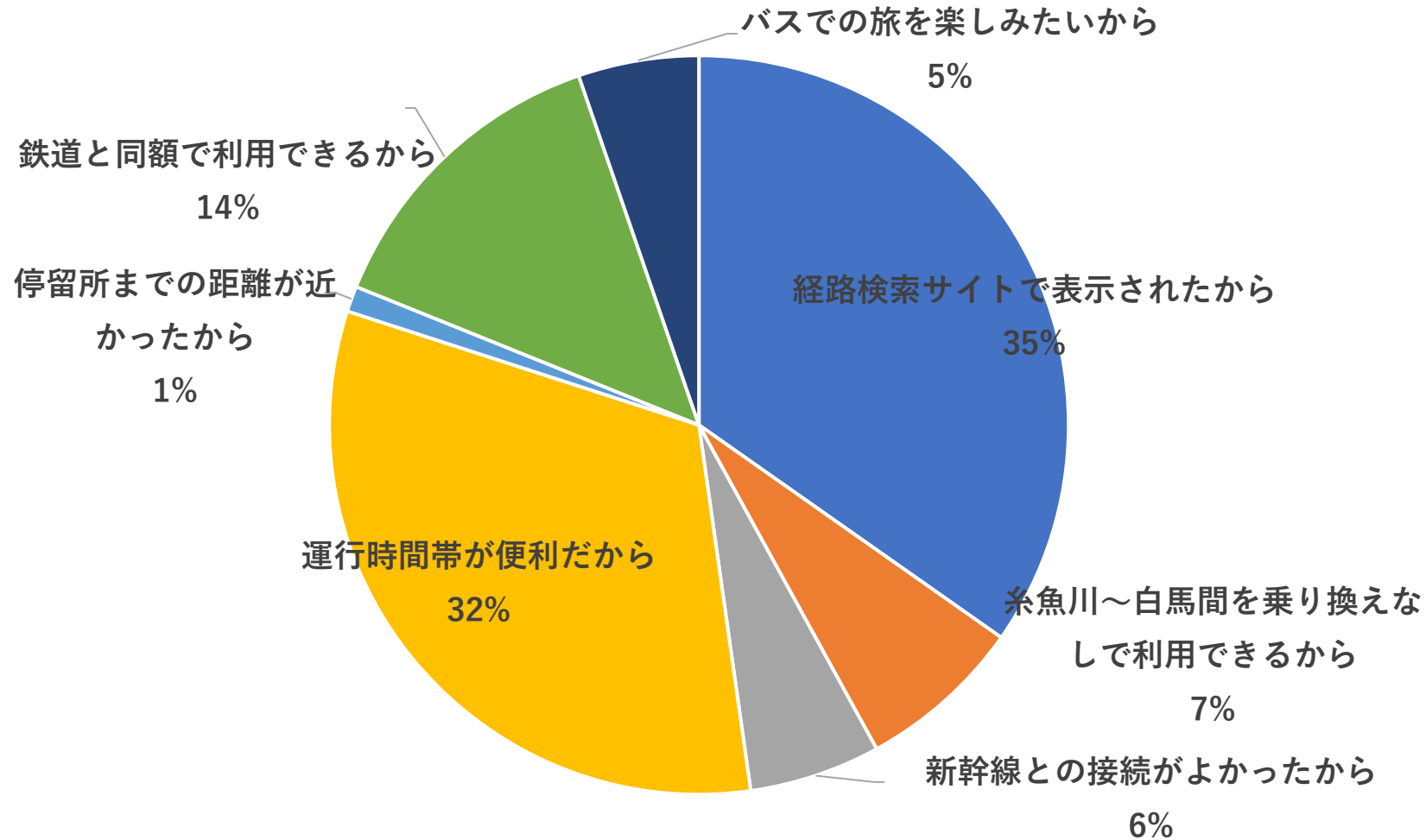


移動手段としての利便性もさることながら、鉄道での旅（鉄道に乗ること）に関する回答が多い

増便バスを選択した理由を教えてください（2つまで選択）

n=2,768

- 経路検索サイトで表示されたから
- 糸魚川～白馬間を乗り換えなしで利用できるから
- 新幹線との接続がよかったから
- 運行時間帯が便利だから
- 停留所までの距離が近かったから
- 鉄道と同額で利用できるから
- バスでの旅を楽しみたいから



運行時間帯や乗り換えの有無、検索サイトでの表示など、移動手段としての利便性に関する回答割合が高い

増便バスで停車して欲しい場所はどこですか？（2つまで選択）

■新潟県・長野県在住者の上位5カ所

n=853

(人)

1位	糸魚川総合病院	196
2位	糸魚川市役所	165
3位	マックスバリュ 糸魚川店	105
4位	ひらせいホームセンター	70
5位	小谷村役場	62

■新潟県・長野県以外在住者の上位5カ所

n=962

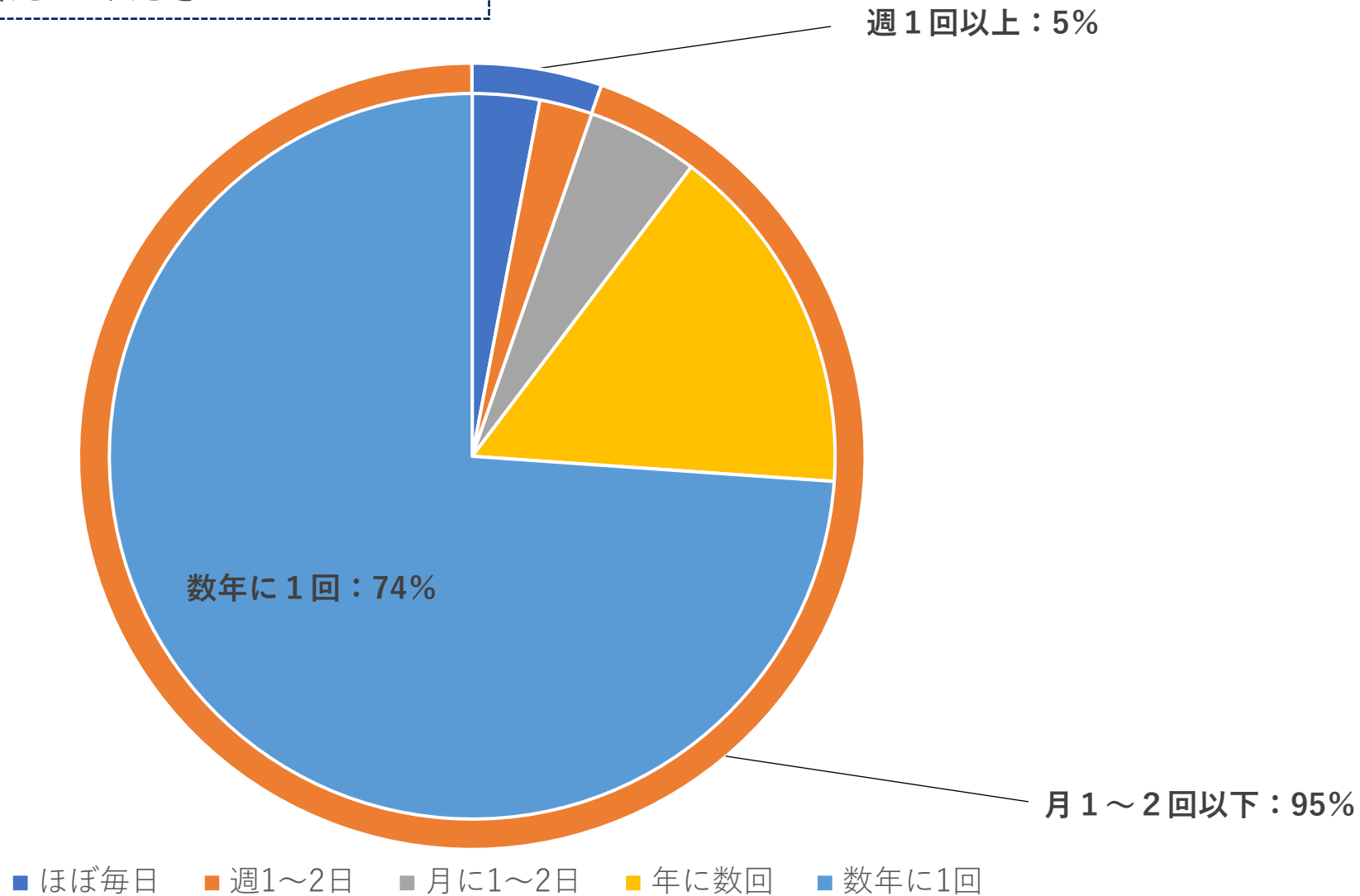
(人)

1位	白馬乗鞍温泉スキー場	108
2位	白馬八方尾根スキー場	97
3位	榑池高原スキー場	90
4位	白馬コルチナススキー場	80
5位	白馬岩岳マウンテンリゾート	79

地元のご利用者は病院やスーパーへのアクセスを希望
 県外のご利用者はスキー場へのアクセスを希望

ご利用の頻度を教えてください

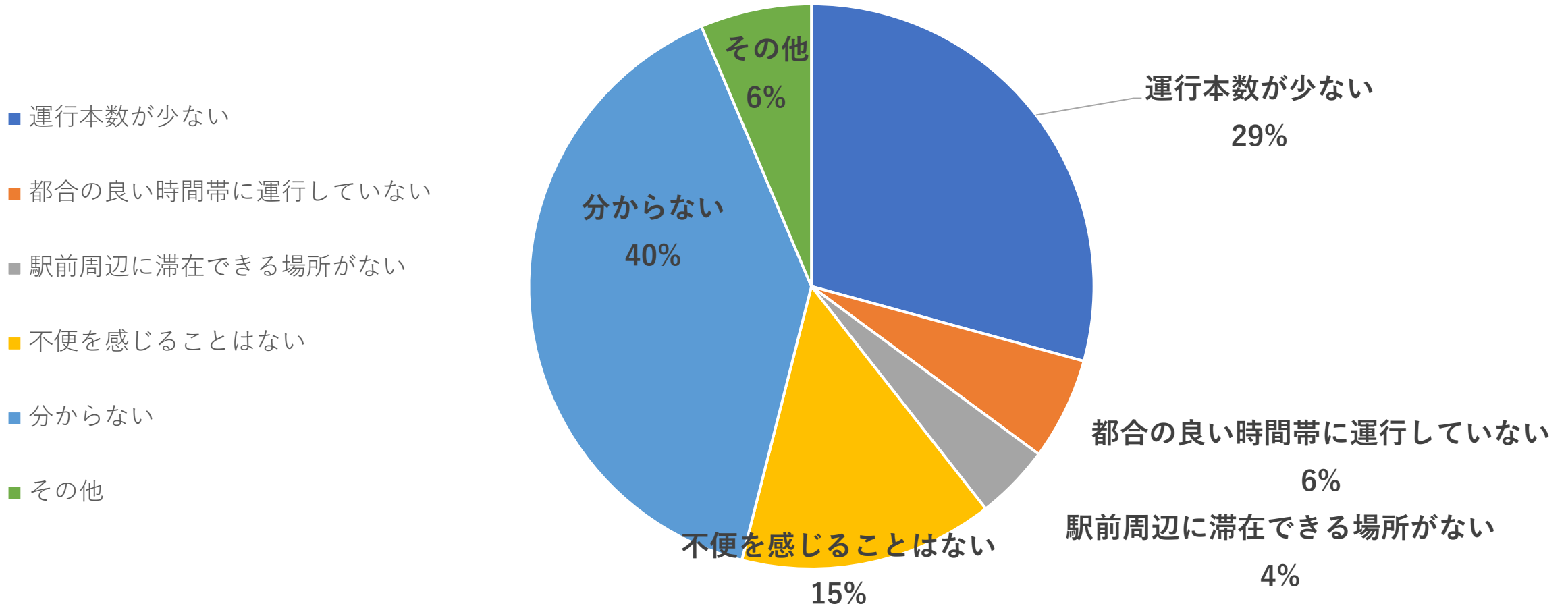
n=7,290



9割が月1~2回以下に1回のご利用

不便を感じることにについて教えてください（3つ選択）

n=6,469（海外からの利用者を除く）



「不便を感じることはない・分からない」との回答が半数以上を占める

まとめ

- ・ 令和6年度（R6.6-R7.3）のJR大糸線増便バスのご利用者は、23,317名、1日平均76.7名、1便平均9.6名
JR大糸線のご利用者は、1日平均197名、1列車平均10名
- ・ ご利用者の9割以上は観光を目的とした利用
- ・ 観光を目的としたご利用者のニーズは、観光地（山々のスキー場）へのアクセス改善



- ✓ 鉄道とバスを併せても、輸送需要の大幅な改善につながるほどのご利用には至らなかった
- ✓ 令和7年度は年度初より、調査結果に基づき観光地（山々のスキー場）へ直接アクセス可能なルートを設定し、潜在的需要の確認する

